

# 「地域に開かれた教会」

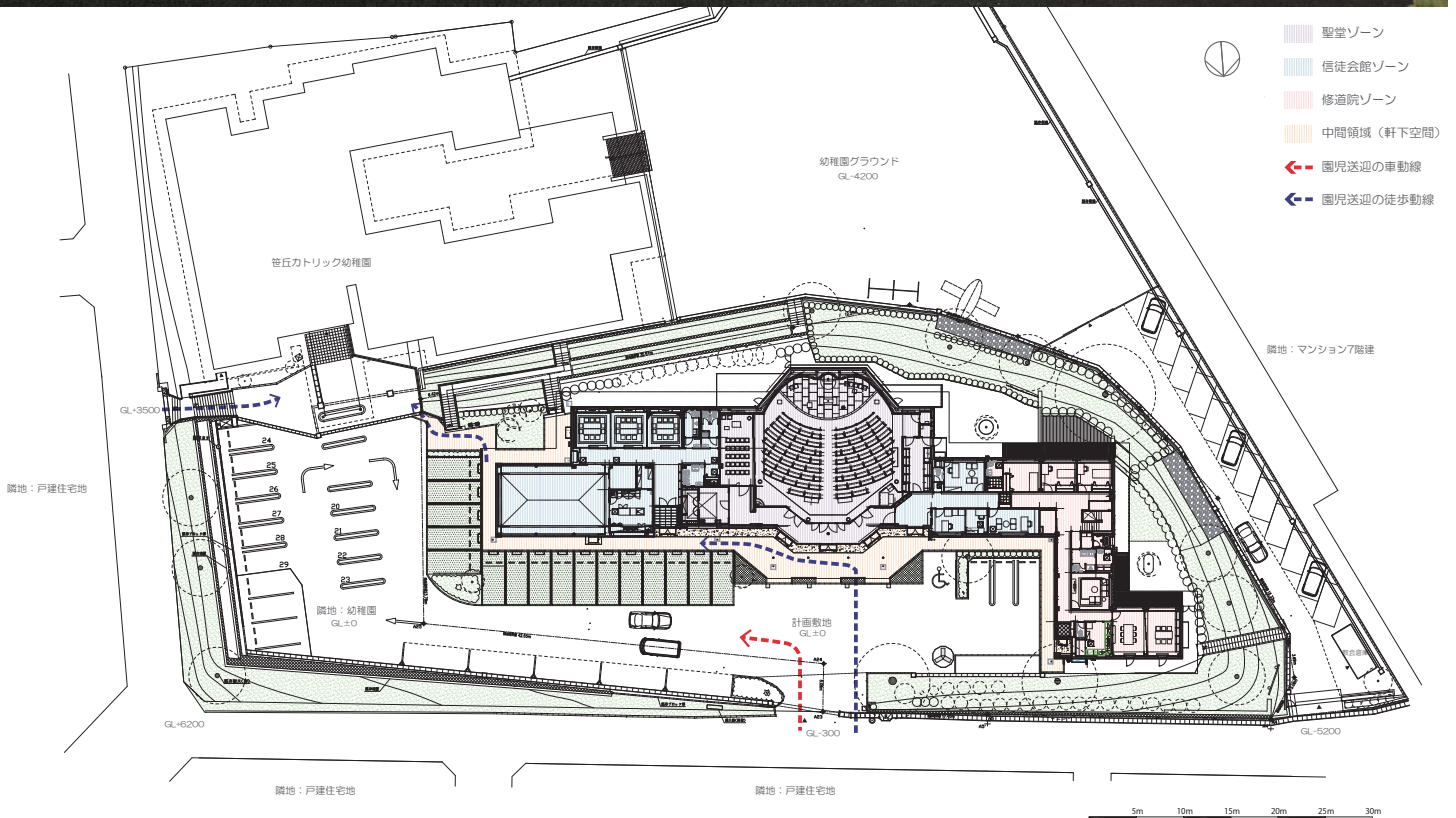
正会員 ○村上晶子\*

# Openness of the church with the community

○ MURAKAMI Akiko\*

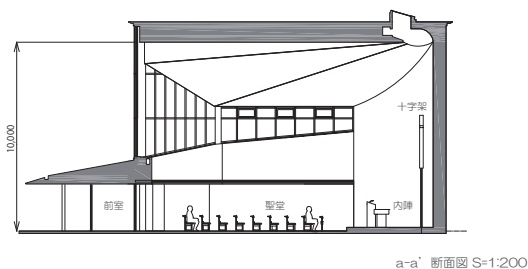
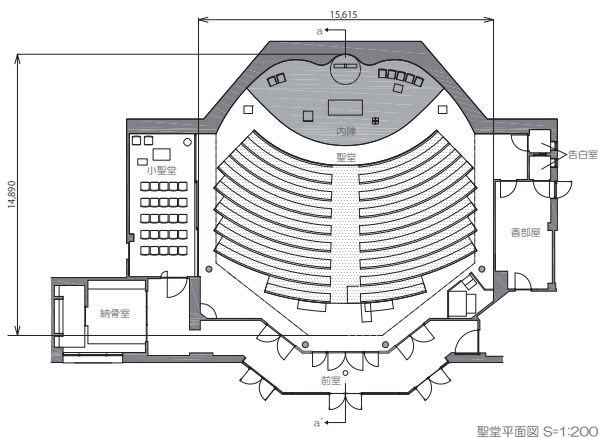
\* 明星大学工学部教授/㈱村上晶子アトリエ代表

\* Prof.Meisei Univ./Akiko Murakami Atelier CEO



所在地：福岡県  
 主な用途：教会  
 敷地面積：2,963.67㎡  
 建築面積：1,045.93㎡  
 延床面積：994.11㎡  
 キーワード：礼拝空間 光 中間領域 素材

Location : Fukuoka  
 Main Use : Church  
 Site Area : 2,963.67㎡  
 Building Floor Area : 1,045.93㎡  
 Total Floor Area : 994.11㎡  
 Keywords :Space for Prayer,Light,Staging area,Texture



聖アウグスチノ会の修道院を併設する福岡にある教会である。教会と修道院、隣接する幼稚園との関係への提案を含み7社からなる指名設計コンペが行われた。計画敷地は、幼稚園と一帯の敷地となっており、笹丘教会が目指す礼拝空間の他、幼稚園活動の一環として教会を利用すること、平日の送迎及び幼稚園行事の際に利用する駐車場計画が条件の一つとして与えられた。配置計画は、翼を広げたようにおおらかに構えてその中心に聖堂を構えた。聖堂に向かって右翼は修道院、左翼は教会信徒会館であり平屋建てである。また、前庭を広くとることで、幼稚園へのアプローチもわかりやすい。大きな軒下空間は、どこからでも人々が入りやすく招き入れる雰囲気としていたと同時に平日の幼稚園徒歩送迎のルートも兼ねる。聖堂内部は、内陣後方に、中心シンボルとなるイエス像の十字架を立て、その上方に天窓があることで気持ちが天にむかうようにしている。正面の壁は白煉瓦を積んだが、小規模な聖堂であるので、サイズを薄くして繊細な仕上がりとした。信徒席の周囲は木の空間で囲んだ。後方のスタンドグラスによる高窓は、聖堂全体を包み込む聖母マリアの慈しみに懐かれるコンセプトとして、青い衣をイメージした光環境をつくった。外部空間におけるタイルも深い青でしつらえている。広い前室から、納骨堂、小聖堂にもアプローチされる。小聖堂は大きな典礼の時には格子のスクリーンがしまわれて、主聖堂と一体の空間となる。教会へのぼる坂から広場の入口の白い塔を構えている。